

タイトル (活動概要)	67 手拍子チームワーク	アフローチ (関連する力)		「自分づくり」② 「集団づくり」⑩	
タイミング (実施時期)	通年	活動場所	教室	所要時間	5分
対象学年	幼・小低・小中・小高 中1・中2・中3・高	対象規模	学級	活動場面	朝の会
活動のねらい	<p><背景>群れ合い体験の不足から、集団で何かをなしとげる楽しさを感じたことの少ない子どもがいる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学級全員でリズムを合わせた手拍子をすることにより、学級のみんなで心をつなげる楽しさを体験する 				
準備	・振り返りシート				
学習・活動		支援の観点・留意点等		資料等	
1 導入 (最初の活動のときだけ) ○手拍子の方法を説明し練習する <ul style="list-style-type: none"> ・「心をあわせて」 ・「心をあわせて、せーの」パン ・「せーの」パンパン ・「せーの」パンパンパン ・「せーの」パンパンパンパン ・「せーの」パンパンパンパンパン (5回で終了) 		<ul style="list-style-type: none"> ・「心をあわせて」ができるようになったら、少し難しい手拍子にしていってもよい (難しい例)「リレー三三七拍子」 ・一人一回の拍手で「パンパンパン、パンパンパン、パンパンパンパンパンパンパン」という三三七拍子のリズム打ちを座席順でリレーしていく ・13人でワンセットなので、全員が回るだけの回数をくりかえす 			
手拍子チームワークに挑戦しよう					
2 主活動 ○手拍子チームワークに挑戦する		<ul style="list-style-type: none"> ・最初は失敗してつかえてしまう子がいるのは当たり前だということを話し、失敗する子を責めることにならないようにする ・失敗しても何回か取り組むようにしてチャンスを増やす ・成功するまでやるのではなく、成功しなければしないで、次回にまた挑戦しようという形で時間をみて終了する 			
3 振り返り <ul style="list-style-type: none"> ・心を合わせようと努力している子のようすを教師が具体的に指摘する ・時期をみて、振り返りシートを書く 		<ul style="list-style-type: none"> ・振り返りシートは成功したときに書くのがよい ・なかなか成功しないことが続いた場合、がんばって成功させようとしている子どもの姿を教師が指摘する形で振り返りをする 		振り返りシート	
配慮事項	<ul style="list-style-type: none"> ・うまくいかなかったときに一人の子を責めるのではなく、学級全体の目標と考えるよう留意する ・すぐに成功することを目標とするのではなく、何回もやっていくなかでだんだんと心が一つになっていくことに意味があることを意識させる 				

「手拍子チームワーク」 ～活動をふりかえろう～

名前（ ）

4 よくできた 3 まあまあできた 2 あまりできない 1 できなかった

- | | |
|----------------------|---------|
| 1 自分からすすんで取り組みました | 4-3-2-1 |
| 2 活動を楽しめました | 4-3-2-1 |
| 3 友達とリズムをあわせるのが楽しかった | 4-3-2-1 |
| 4 全員で成功したときうれしかった | 4-3-2-1 |

○ 「手拍子チームワーク」の感想を書こう